

8月28日からの大雨に関する対応（第2報）

平成20年8月29日

17:00 現在

国土地理院

これまでの国土地理院の対応は以下のとおりである。

1. 大雨の状況

1) 概要

北海道から本州付近にかけて停滞している前線に向かって、日本の南の低気圧の東側から非常に湿った空気が流れ込んだため、東海地方や関東地方、東北地方では局所的に1時間に100ミリ以上、東海地方では29日9時までの24時間に300ミリを超える大雨になった所があった。

今後、30日にかけては、本州の上空6000m付近に氷点下9度前後の寒気が流れ込むため、北日本、東日本、西日本では、大気の状態が非常に不安定となるため、1時間に50ミリ前後、局地的には80ミリを超える猛烈な雨の降るおそれがある。30日12時までの24時間に予想される雨量は、北日本、東日本、西日本のいずれも多い所で、100から150ミリの見込みである。

2. 体制等

8月29日(金) 0時10分 注意体制

8月29日(金) 16時00分 第1回連絡会議を開催

3. 主な活動状況

1) 災害状況の把握

- ・災害概況図を作成してホームページで公開